



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年4月14日朝刊

## 周囲に避難告白 7割が支援実感

**避難先で避難を明かした頻度**

頻度	人数	割合
頻繁にある	33人	28%
時々ある	49人	41%
ほとんどない	23人	19%
全くない	4人	3%

**避難を「頻繁に」もしくは「時々」明かした人のうち、支援を実感した頻度**

頻度	人数	割合
頻繁に	18人	22%
時々	38人	47%
ほとんどない	6人	7%
全くない	5人	6%

※原発事故を巡り、兵庫県立大のチームが関西地方への避難者を対象に実施した調査。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。無回答を除く。

東京電力福島第1原発事故を巡り、兵庫県立大のチームが実施した関西地方への避難者を対象にした調査で、避難している人を「頻繁に」もしくは「時々」明かした人のうち約7割が、周囲の支援があつたと実感していたことが分かった。ただ一部は批判的な意見を言われた経験があつた。調査した兵庫県立大院生の古部真由美さん(49)は「身近な人からの声かけや共感が孤立解消につながる。ちよつとした気配りが大きな支えになる」と話した。古部さんは大阪市の避難者支援団体「まるっと西日本」代表世話人を務めている。チームは2020年、関西2府4県に住む避難者1322人にアンケート用紙を送付。福島県などから来た128人から回答を得た。

避難先で避難していることを告げた頻度に関する質問に答えた120人のうち、33人(28%)が「頻繁」、49人(41%)が「時々」だった。「全くない」は4人(3%)、「ほとんどない」は11人(9%)。

「頻繁」「時々」の82人に避難先で励まされたり、サポートされたりした頻度を確認すると、回答した81人中の18人(22%)が「頻繁」、38人(47%)が「時々」で計69%になった。「家電や家具を集めてくれた」「『大変だったね』と同調してくれた」などの回答があつた。

避難先で批判的な意見を言われたり、つらい経験をしたか聞いた質問では、回答者86人のうち、9人(10%)が「頻繁」、17人(20%)が「時々」だった。「『まだ避難しての？』『気にしすぎ』と言われた」「福島県から来た仲間外れにされたりした」などの事例があつた。

①この調査で、原発事故を巡り、「避難していることを明かした」と答えた人は約何割か。また、そのうち、「支援を実感した」と答えた人は約何割か。

明かした 約( )割      支援を実感した 約( )割

②原発事故を巡り、避難している人への支援の事例を記事中から見つけて1つ書きましょう。

( )

③原発事故を巡り、避難している人への批判的な意見や避難している人のつらい経験の事例を記事中から見つけて1つ書きましょう。

( )

④この調査から、原発事故を巡り、避難している人への支援についてどんなことが考えられますか。30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。


年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会、道徳、総合)



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

## 解答例

2022年4月14日朝刊

### 原発事故巡り関西で調査 一部で批判的な反応

## 周囲に避難告白 7割が支援実感

東京電力福島第1原発事故を巡り、兵庫県立大のチームが関西地方への避難者を対象にした調査を実施した。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。無回答を除く。

※原発事故を巡り、兵庫県立大のチームが関西地方への避難者を対象にした調査。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。無回答を除く。

「避難先で避難を明かした頻度」

ほとんどない	4 (3%)
あまりない	11 (9%)
時々ある	49 (41%)
頻繁にある	33 (28%)
明かした頻度	23 (19%)

「避難を「頻繁」に「もしくは」「時々」明かした人のうち、支援を実感した頻度」

ほとんどない	5 (6%)
あまりない	6 (7%)
時々ある	14 (17%)
頻繁にある	38 (47%)
支援を実感した頻度	18 (22%)

「頻繁」「時々」の82人に避難先で励まされたり、サポートされたりした頻度を確認すると、回答した18人中の18人(22%)が「頻繁」、38人(47%)が「時々」で計69%になった。「家電や家具を集めてくれた」「大変だったね」と同調してくれた」などの回答があった。

避難先で批判的な意見を言われたり、つらい経験をしたりしたか聞いた質問では、回答者86人のうち、9人(10%)が「頻繁」、17人(20%)が「時々」だった。「『まだ避難してるの?』『気にしすぎ』と言われた」「福島県から来たと伝えると、無視されたり仲間外れにされたりした」などの事例があった。

避難先で避難していることを告げた頻度に関する質問に答えた120人のうち、33人(28%)が「頻繁」、49人(41%)が「時々」だった。「全くない」は4人(3%)、「ほとんどない」は11人(9%)。

「頻繁」「時々」の82人に避難先で励まされたり、サポートされたりした頻度を確認すると、回答した18人中の18人(22%)が「頻繁」、38人(47%)が「時々」で計69%になった。「家電や家具を集めてくれた」「大変だったね」と同調してくれた」などの回答があった。

「頻繁」「時々」の82人に避難先で励まされたり、サポートされたりした頻度を確認すると、回答した18人中の18人(22%)が「頻繁」、38人(47%)が「時々」で計69%になった。「家電や家具を集めてくれた」「大変だったね」と同調してくれた」などの回答があった。

「頻繁」「時々」の82人に避難先で励まされたり、サポートされたりした頻度を確認すると、回答した18人中の18人(22%)が「頻繁」、38人(47%)が「時々」で計69%になった。「家電や家具を集めてくれた」「大変だったね」と同調してくれた」などの回答があった。

①この調査で、原発事故を巡り、「避難していることを明かした」と答えた人は約何割か。また、そのうち、「支援を実感した」と答えた人は約何割か。

明かした 約( 7 )割      支援を実感した 約( 7 )割

②原発事故を巡り、避難している人への支援の事例を記事中から見つけて1つ書きましょう。

( 家電や家具を集めてくれた。／「大変だったね」と同調してくれた。 などから1つ )

③原発事故を巡り、避難している人への批判的な意見や避難している人のつらい経験の事例を記事中から見つけて1つ書きましょう。

( 「まだ避難してるの?」「気にしすぎ」と言われた。 福島県から来たと伝えると、無視されたり仲間外れにされたりした。 などから1つ )

④この調査から、原発事故を巡り、避難している人への支援についてどんなことが考えられますか。30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 身近な人からの声かけや共感が孤立解消につながる。 (26字)  
ちょっとした気配りが避難している人の大きな支えになる。 (29字)  
など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会、道徳、総合)